

悉皆調査による岩手県脳卒中登録整備と岩手県脳卒中罹患状況に関する研究

1. 研究の対象

岩手県内に在住し、2019年4月1日から2028年3月31日までに脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血、および、その他脳血管障害に罹患し、岩手県内の全ての医療機関、および、岩手県に隣接する地域の医療機関を受診した患者。

予定患者数：36,000名

対象病院

岩手県内の医療機関、および、岩手県に隣接する地域の医療機関
(文末に対象病院一覧掲示)

2. 研究期間

倫理委員会承認時～2029年3月31日の間

3. 研究目的・方法

(研究目的)

岩手県は、47都道府県の中で最も脳卒中死亡率の高い県の1つである。岩手県民の脳卒中罹患状況の把握と予防や対策を目的に岩手県の全医療機関を対象に行われている岩手県地域脳卒中登録の悉皆調査を継続して悉皆性を維持する事と、悉皆性の高い岩手県脳卒中登録データを解析して脳卒中罹患状況の経時的変化を明らかにし、脳卒中予防や対策に有用な情報を得ることを目的とする。調査員による悉皆調査を継続する事により、現場の医療に関わる医師や医療機関の負担を軽減にもつながる。そして、今後の岩手県在住者の脳卒中罹患状況を継続して把握することが可能となり、岩手県の脳卒中予防対策や今後の脳卒中罹患患者への対応など、さらなる有益な情報を得ることが期待できる。

(研究方法)

岩手県内の医療機関、および、岩手県に隣接する地域の医療機関で医療機関の長の承諾を得て、研究対象者の診療録を閲覧して岩手県地域脳卒中登録に未登録者の脳卒中登録票を作成し、岩手県地域脳卒中登録運営委員会に提出して脳卒中登録データに登録される。その脳卒中登録データを解析して岩手県民の脳卒中の罹患状況について解析を行う。

(研究結果の公表)

本研究の結果は学会および論文にて公表する。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

悉皆調査により作成された脳卒中登録票は岩手県地域脳卒中登録運営委員会に提出され、脳卒中登録データベースに登録される。

情報の解析は、岩手県地域脳卒中登録運営委員会より脳卒中登録データの利用許可を得て、氏名、生年月日、住所が削除され匿名化されたデータの解析を行う。

5. 研究費および利益相反

研究費は日本学術振興会科学研究費 平成 28 年度基盤研究 C 16K09067, 悉皆調査による脳卒中登録整備と東日本大震災後の中長期的脳卒中罹患状況に関する研究、および、平成 31 年度基盤研究 C 19K10627, DPC 情報と電子カルテ情報を用いた脳卒中登録システム整備に関する研究、および本研究者の特別研究費で行われます。本研究者および本研究者が所属する岩手医科大学は、当該研究に関していかなる利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

自分の情報利用を希望されない場合、また、本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。情報利用を拒否されても不利益を被ることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

研究責任者：岩手医科大学医学部総合診療医学講座 大間々真一

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1

TEL：019-613-6111 (内線 6304)

7. 対象病院一覧

岩手県

盛岡友愛病院、栃内病院、国民健康保険西根病院、宝陽病院、東和病院、町立西和賀
さわうち病院、総合水沢病院、国民健康保険まごころ病院、一関病院、ひがしやま病
院、岩手県立大船渡病院、岩手県立高田病院、岩手県立釜石病院、岩手県立大槌病院、
せいてつ記念病院、岩手県立宮古病院、岩手県立山田病院、岩手県立久慈病院、国民
健康保険種市病院、岩手県立二戸病院、岩手県立軽米病院、岩手県立一戸病院、

青森県

八戸市立市民病院、八戸赤十字病院、青森労災病院

秋田県

JA 厚生連かづの厚生病院、JA 厚生連平鹿総合病院

宮城県

気仙沼市立病院、登米市立登米市民病院、栗原市立栗原中央病院、栗原市立若柳病院

-----以上